



アーバンエナジー、臨港パークへ電力供給開始 ～新サービス「創電割」による廃棄物の有効利用～

JFE エンジニアリング株式会社（社長：大下元、本社：東京都千代田区）の100%子会社のアーバンエナジー株式会社（社長：小賀坂善久、本社：神奈川県横浜市）は、株式会社横浜国際平和会議場（社長：鈴木隆、本社：神奈川県横浜市、以下パシフィコ横浜）が管理する臨港パークへの電力供給を4月より開始します。

今回の電力供給は、パシフィコ横浜が管理する施設や公園で収集される廃棄物を燃料にして発生する電力で臨港パークの電力需要の一部を賄うもので、電力供給量は年間約30万kWh（一般家庭約100世帯分）です。

この廃棄物は、JFE エンジニアリングの100%子会社のJFE 環境株式会社（社長：櫻井雅昭、本社：神奈川県横浜市）により収集・運搬され、同社が運営する産業廃棄物処理施設で焼却・発電されます。アーバンエナジーは、そこで発電した電力を買取り、臨港パークに供給します。

今回のようにアーバンエナジーが廃棄物から発電した電力を買取り、発生元施設へ供給する場合に、廃棄物の処理量に応じて電力料金を割り引くサービス「創電割（そうでんわり）」を、新たなサービスとして提供します。

アーバンエナジーは横浜市内に本社を置く電力会社として最大の小売販売量実績を有し、再生可能エネルギー比率の高い電源を持つ新電力会社です。また、パシフィコ横浜は、国際会議、学会・会議、展示会、イベント等に関する国内最大級の複合MICE施設として国際会議開催実績では国内トップの実績を持ち、サステイナブルな施設の実現を目指して環境負荷の低減のための取り組みを行っており、施設内で集めた全てのごみの計量・記録を徹底し、施設内で出た廃棄物の完全把握と100%リサイクルを目指しています。

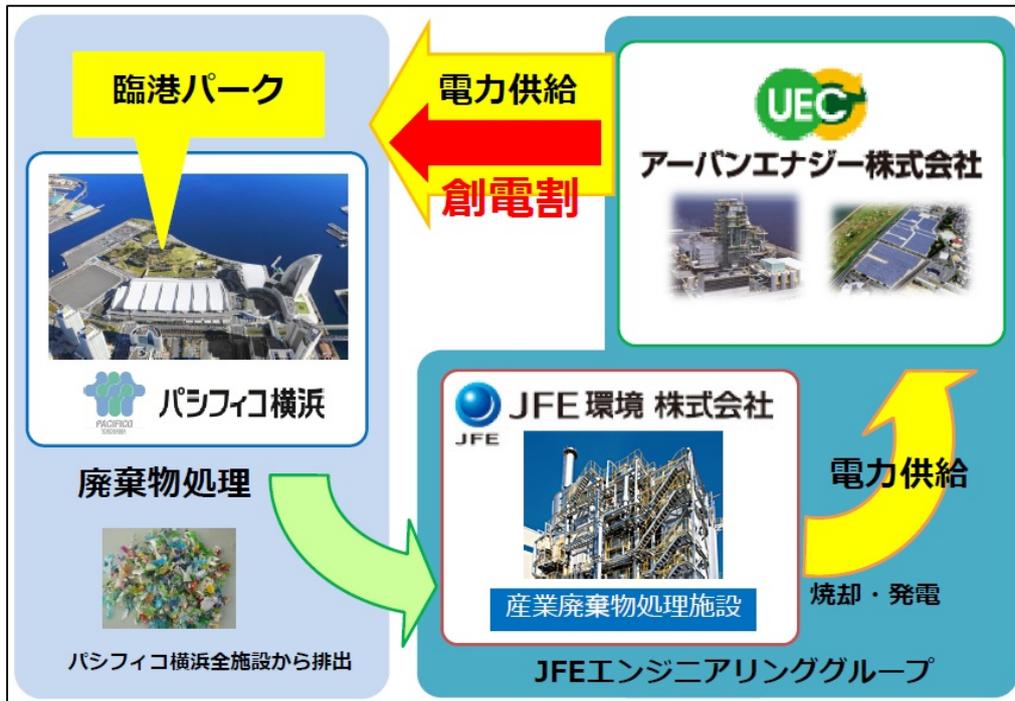
今回、アーバンエナジーはJFEグループの複合的な提案として、廃棄物を電力に転換して活用する提案を行い、これが高く評価され受注に至りました。

JFE エンジニアリンググループは、今後もグループの幅広い技術を活用し、一体となって環境負荷を低減する事業を展開してまいります。

■受注概要

- (1) 発注者 : 株式会社横浜国際平和会議場
(2) 契約電力 : 65kW
(3) 供給開始日 : 2017年4月2日

■自前の廃棄物で発電した電力消費のスキーム図（創電割）



■臨港パーク外観



本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

JFEエンジニアリング株式会社 総務部広報グループ TEL045-505-8953